

平成24年度 文化環境評価システムの取組結果について

1 文化環境評価システムとは

県が公共事業等のハード事業を行う際に、「文化環境配慮方針(共通・個別配慮事項)」に基づき、環境負荷の軽減と地域文化の保存・活用を継続的に行う全庁的なシステムとして平成11年4月1日から実施しています。
事業費が一定規模以上の対象工事について、工事発注前に検討会を行い、より効果のある環境配慮を検討し、工事後は実施できた環境配慮について情報発信・情報共有に努めていく取組を行っています。



環境配慮検討会(工事発注前)の状況

文化環境配慮方針の配慮項目



年度	過去5年間の対象工事数
H20	24工事
H21	20工事
H22	21工事
H23	11工事
H24	11工事

2 平成24年度完了工事一覧 (前年度以前からの繰越工事含む)

事業	検討年度	工事名
道路	H22	■国道439号地域活力基盤創造交付金(落合トンネル)工事
	H22	□県道高知南インター線(坂本橋上部工)地域活力基盤創造交付金工事
	H22	■県道春野赤岡線地域活力基盤創造交付金(文庫鼻トンネル)工事
砂防	H24	□福良川通常砂防工事
林道	H23	■幹線林道開設事業旭・天狗高原線2工区工事
治山	H23	■用居復旧治山工事
	H24	□中の川NO.2林地荒廃防止工事
ほ場	H23	■四万十窪川地区中山間総合整備神ノ西工区ほ場整備工事

■は、施工事例として次に紹介しています。

3 環境配慮勉強会の開催

県の出先機関の公共事業担当者を対象に、環境諸法令の知識や、景観、貴重植物への環境配慮の手法等の習得のため、年に一回の勉強会を開催しています。

【H24年度実績】

・平成24年10月19日14:00～16:30 牧野植物園映像ホール
・テーマ: 公共事業と貴重植物の保護、うみがめ保護条例の留意点、文化的景観と公共事業について等。



4 具体的な施工事例について (抜粋)

道路事業

■国道439号地域活力基盤創造交付金(落合トンネル)工事

【工事概要】 トンネル工: 施工延長119m 工期: H23.3.25～H24.7.15
国道439号線は徳島県徳島市を起点に、四万十市に至る延長336.45kmの一般国道で高知県の幹線道路である。当該区間は、沿線住民にとっては通勤、通学、通院等の日常生活に直結する重要な生活道路となっている。落合トンネルでは、周辺住民の生活環境への負担軽減のため施工体制を昼間(1方)のみとするともに、構造物についても地形改変が少なく、コンクリート面の露出を抑えた計画とすることで周辺環境・景観に配慮した整備を行う。

【主な環境配慮】

- トンネル掘削面からの湧水に伴う濁水や工事等に伴う排水は、環境基準を超える浮遊物質量(SS)・水素イオン濃度(pH)を含むため、現場内に濁水処理装置を設置し、凝集剤で浮遊物質を分離するとともに炭酸ガスで中和し、河川へ放流した。
- 終点側トンネル坑門の位置決定にあたっては、地形の改変が最も少なく、周辺環境との調和・景観性に優れる計画とした。
- 近接する落合集落の生活環境への負担を軽減するため、施工体制を昼間のみとした。

大豊町落合

終点側坑口 地形改変が少ない坑口位置を決定



道路事業

■県道春野赤岡線地域活力基盤創造交付金(文庫鼻トンネル)工事

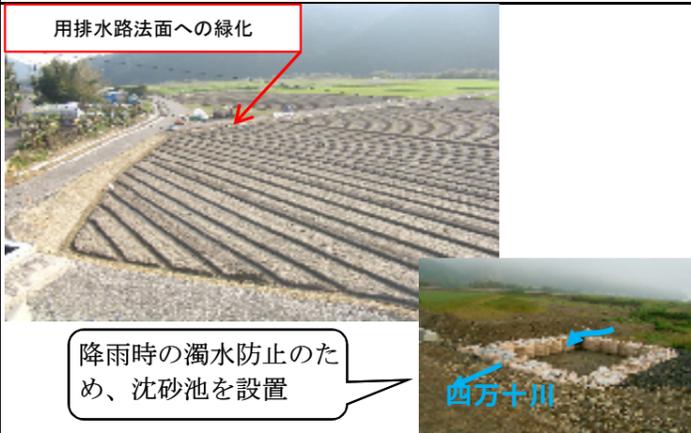
【工事概要】 トンネル工: 施工延長75m 工期: H23.1.8～H24.4.20
高知市の海岸沿いの幹線道路でもあり、車両通行をさせながらの工事であるため、通行者になるべく迷惑をかけないような配慮(通行車両を汚したりしない、通行者に対しても交通整理員の配置等)を行う。また、環境への配慮として、掘削法面の緑化、ドライバーへの心理的圧迫感の軽減対策、掘削の騒音に対する周辺に配慮した整備を行う。

【主な環境配慮】

- 坑口の上部法面については、コンクリート吹き付け工をやめて、将来の自然緑化が見込まれるロックネット工法とした。
- 起点部坑口については、壁面構造をせず、ドライバーに心理的圧迫感を与えない突出型坑口とした。

高知市 春野町 仁ノ



<p>林道事業</p> <p>■幹線林道開設事業 旭・天狗高原線2工区工事 【工事概要】 林道開設: 施工延長114m 工期: H24.3.2~H24.12.7 林道開設工事に伴い、周辺景観と調和させるため、郷土樹種を含む種子の配合による法面の緑化、間伐材を使用した丸太柵工、丸太伏工の施工。また、側溝に迷い込んだ小動物の保護用側溝を設置し、移動経路を確保することにより生態系にも配慮した整備を行う。 【主な環境配慮】 ・山切面の法面については、郷土樹種を含む種子の配合とした植生基材吹付工を施工した。 ・道路脇に土留として、間伐材による丸太柵工・丸太伏工の使用した。 ・排水施設の側溝について、小動物が出入り可能な小動物保護側溝を施工した。</p>	<p>仁淀川町 別枝</p> 
<p>治山事業</p> <p>■用居復旧治山工事 【工事概要】 コンクリート土留工8基、水路工130m 工期: H23.9.30~24.9.30 当地区は仁淀川支流土居川の渓流上端部に位置し、山腹が拡大崩壊した場合、河川が閉塞され、下流域の道路、人家、農地等に多大な損害を与える恐れがある。そのため、豪雨による山腹崩壊及び溪岸浸食の拡大を抑制する。その際、構造物周辺に丸太柵工を施工して、周辺環境の調和を図る。 【主な環境配慮】 ・土留工の構造物周辺に丸太柵工を施工して、周辺環境の調和を図った。</p>	<p>仁淀川町 用居</p> 
<p>ほ場事業</p> <p>■四万十窪川地区中山間総合整備神ノ西工区ほ場整備工事 【工事概要】 区画整理 5.7ha 工期 H23.8.13~H24.5.15 当地区では、旧窪川町農村振興基本計画に基づき、自然と調和した施工を計画し、地元関係者及び景観行政団体である四万十町の関係課(教育委員会・環境課・建設課)と調整を図りながら環境に配慮した整備を図る。 【主な環境配慮】 ・用排水法面については、地元要望によりセンチピードグラスでの緑化を行い、周辺に調和した景観保全に努めた。 ・施工中の土砂、濁水の防止対策として沈砂池を設置し、降雨時の施工を出来る限り回避した。 ・用排水路については、小動物が移動するためのスロープを設けることで移動経路の確保を行った。</p>	<p>四万十町 神ノ西</p> 

5 平成25年度以降完成予定の対象工事一覧（現在施工中）

次の工事は、工事完了が平成25年度以降となっております。

事業	検討年度	工事名	事業	検討年度	工事名
道路	H22	国道441号地域活力基盤創造交付金(橋橋上部工)工事	河川	H23	奥田川広域河川改修工事
	H22	県道高知南インター線地域活力基盤創造交付金(五台山トンネル下り線)工事		H24	弘見川広域河川改修工事
	H23	国道439号活力創出基盤整備総合交付金(大植1号トンネル)工事		H24	和食ダム本体建設工事
	H23	国道439号活力創出基盤整備総合交付金(木屋ヶ内バイパス第2橋上部工)工事	漁港	H24	野根漁港地域水産物供給基盤整備工事
	H23	国道439号活力創出基盤整備総合交付金(東石原トンネル)工事	林道	H24	畑山仲木屋線森林基幹開設工事(1工区)
	H24	国道494号社会資本整備総合交付金(王子トンネル)工事	用排水	H24	烏川地区農業河川工作物応急対策取水施設下部工事
	H24	県道足摺岬公園線社会資本整備総合交付金(松尾トンネル:大浜工区)	ほ場	H24	四万十窪川地区中山間地域総合整備宮内工区(宮内団地)場整備工事
	H24	県道足摺岬公園線社会資本整備総合交付金(松尾トンネル:松尾工区)			